

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		耳鼻・咽喉・口腔系			3		
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		原 浩貴		假谷 伸			
目的							
<p>1. 耳鼻咽喉・頭頸部外科領域の聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、発声・構音、生命維持に必須な呼吸機能や摂食・嚥下機能は、生 下時から人が生きていくために必須であり、実際の臨床現場で担当するすべての患者がなんらかの症状を訴える可能性が有る。 専門医師の診断・治療が必要かどうか判断できることが求められるため、基本的知識を習得することが目的である。</p> <p>2. プライマリ・ケアの観点からは、特に生死に関わる気道緊急に関する疾患・治療について十分に学ぶことも目的である。</p>							
授業到達目標							
<p>1. 耳鼻咽喉・頭頸部外科領域の聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、発声・構音、生命維持に必須な呼吸機能や摂食・嚥下機能は、生 下時から人が生きていくために 必須であることを説明できる。</p> <p>2. 耳鼻咽喉・頭頸部外科における主たる検査について必要性和概略の説明ができる。</p> <p>3. 代表的疾患（中耳炎、めまい疾患、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃疾患、嚥下障害、頭頸部腫瘍など）について病態生 理を理解し、検査、診断、 治療、予後を説明できる。</p> <p>4. プライマリ・ケアの観点から救急疾患、他科との連携を必要とする境界領域疾患や全身疾患の部分症状などを説明できる。</p>							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	9/ 4	水	3	講義	假谷	耳鼻	耳科学（構造・機能・症候）
2	9/ 4	水	4	講義	濱本	耳鼻	耳科学（検査1-聴覚系）
3	9/17	火	5	講義	濱本	耳鼻	耳科学（検査2-前庭系）
4	9/17	火	6	講義	濱本	耳鼻	耳科学（耳硬化症、顔面神経麻痺）
5	9/19	木	3	講義	濱本	耳鼻	耳科学（外耳疾患、中耳炎）
6	9/19	木	4	講義	假谷	耳鼻	耳科学（感音難聴、補聴器・人工内耳）
7	10/ 9	水	3	講義	假谷	耳鼻	耳科学（めまい）
8	10/ 9	水	4	講義	假谷	耳鼻	鼻科学（構造・症候・検査）
9	10/22	火	1	講義	田所	耳鼻	鼻科学（鼻・副鼻腔炎疾患）
10	10/22	火	2	講義	田所	耳鼻	鼻科学（副鼻腔疾患）
11	10/24	木	3	講義	兵	耳鼻	鼻科学（アレルギー疾患）
12	10/24	木	4	講義	田所	耳鼻	咽頭科学（口腔・咽頭の解剖）
13	10/28	月	5	講義	田所	耳鼻	咽頭科学（口腔・咽頭の生理・機能・検査）
14	10/28	月	6	講義	田所	耳鼻	咽頭科学（口腔・咽頭の疾患、唾液腺）
15	11/ 1	金	3	講義	原浩	耳鼻	喉頭科学（構造・機能・生理・検査）
16	11/ 1	金	4	講義	原浩	耳鼻	喉頭科学（疾患・症状）
17	11/ 6	水	4	講義	向井隆	歯科医療	①歯・顎・口腔の構造と機能 ②う歯と歯周病 全身との関連
18	11/ 6	水	5	講義	福田裕	耳鼻	頭頸部腫瘍、総論
19	11/ 6	水	6	講義	福田裕	耳鼻	頭頸部腫瘍（副鼻腔）
20	11/11	月	5	講義	原浩	耳鼻	咽頭科学（OSA）

21	11/11	月	6	講義	原浩	耳鼻	嚥下障害
22	11/29	金	1	講義	福田裕	耳鼻	頭頸部腫瘍（咽頭・喉頭）
23	12/ 4	水	3	講義	伊禮	病理	口腔・耳鼻咽喉科領域の病理（耳・鼻腔疾患）
24	12/ 4	水	4	講義	伊禮	病理	口腔・耳鼻咽喉科領域の病理（咽頭・喉頭・唾液腺疾患）
評価方法							
[期末試験]100%							
[評価方法]多肢選択試験							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
（特になし）							
教科書							
ISBN-9784521747873, あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, 香取幸夫, 日高浩史編集, 中山書店, 2020							
参考書							
ISBN-9784525370510, 新耳鼻咽喉科学, 切替一郎原著 ; 加我君孝編, 南山堂, 2013							
準備学習（予習・復習等）							
教科書、参考書を見て各自予習すること。							
講義についての注意事項							
予習復習を忘れずに行うこと。予習では30分程度でシラパスに示す項目に目を通し、復習では講義スライドを20分程度で振り返り理解を深めること。							
昨年度からの変更点・改善項目							
（特になし）							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について							
4年次学修科目の症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。この科目は、主としてコンピテンスのⅢ. 医学と関連領域の知識 1～3の達成に向けて設定されている。							
ナンバリング							
DL0T316							